

環境調査結果のお知らせ

平成30年10月30日10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は18.9～23.3℃で、前回調査時(H30.9.27)と比較して全層で2.4～5.7℃下降していました。

塩分は23.2～31.5で、前回調査時と比較して全層で0.7～7.7上昇していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は6.1～8.8mg/lで、前回調査時と比較して全層で1.6～3.4mg/l増加していました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.0mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なプランクトンは確認されませんでした。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.9.27)	
		値	差(今回-前回)
0m	18.9	22.7	▲ 3.8
1m	19.0	24.7	▲ 5.7
2m	23.1	25.7	▲ 2.6
B-1	23.3	25.7	▲ 2.4

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.9.27)	
		値	差(今回-前回)
0m	23.2	15.5	7.7
1m	24.3	21.8	2.5
2m	30.7	30.0	0.7
B-1	31.5	30.7	0.8

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.9.27)	
		値	差(今回-前回)
0m	8.8	6.6	2.2
1m	8.7	5.3	3.4
2m	6.9	4.7	2.2
B-1	6.1	4.5	1.6



表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.6	3.6
透明度	2.0	2.8

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	プロコセトラム・トリエステナム	アカシオ・サンガイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	0	0	0	0	9,000
1	0	0	0	0	8,100
2	0	0	0	0	1,800

漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アカシオ:  
10,000～50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>